

要請から出動の流れ

※市内7か所を指定

緊急時離着陸場



5 医師による救命治療開始。その後、搬送。

搬送受入病院

4 救急車で緊急時離着陸場へ

5分以内に出動！
杵築市内であれば、約10分で到着！



4 ドクターヘリ出動

大分大学医学部付属病院
救命救急センター(由布市)

1 119番通報！
救急車が現場へ。



2 救急隊からの連絡

消防本部

3 ドクターヘリ要請
離着陸場の決定

ドクターヘリ運用開始



航続距離:550km
飛行速度:200km/h
連続航続時間:2時間30分

医師が現場に急行



出動時のイメージ:狭い機内に、医療機材が並び、救急隊員による「応急処置」に加え、救命専門の医師による「救命治療」が可能になる。

緊急時はどうする？
緊急の際は、慌てることなく、**119番通報をしてください。**これまで通り、119番通報をして、「救急です！」と言い、ゆっくり落ち着いて、電話を続けてください。**まずは、救急車が現場に駆けつけます。**
市民の人が、ドクターヘリを直接呼ぶ仕組みではありません。患者さんの容体はもちろんなこと、その時の様々な状況から救急隊員などが判断します。
1機のドクターヘリで、大分県全体をカバーしています。

夜間も飛んでくる？
ドクターヘリの活動時間は、**夜明けから日没まで**です。夜間霧や強風などの天候が悪いときは、飛行できません。
このような時は、救急車で搬送となります。



ドクターヘリって？
「空飛ぶ救急車？」いえ、それ以上の機能があります。ドクターヘリには、救急医療に用いる機材とあわせて、救急医療専門の医師が乗っています。医師をいち早く救急現場に送りこみ、現地で、必要な治療を行いながら、速やかに搬送することができます。
より多くの救急患者の命を守ることや、後遺症の軽減が期待されています。
ドクターヘリは、**由布市にある「大分大学医学部付属病院」**

の救命救急センターで待機しています。**大分県全域が活動範囲**です。出動中でも、前の搬送が終わったら、次の現場に駆けつけることができます。
病気や痛みを早く治してあげたい気持ちは、医師も、皆さんと同じです。しかし突然、事故などで本当に命の危険にさらされ、専門の高度な医療機関でないと助からない、**緊急性の高い患者さん**が発生します。
ドクターヘリは、こうした事態に、医師とともに駆けつけ、初期治療をし、遠くにある高度な医療機関に患者さんを搬送します。



①

②

【緊急時離着陸場】
杵築消防署駐車場、B & Gグラウンド、大田グラウンド(東俣水)、山香庁舎前広場、山香農業高校グラウンド、大分農業文化公園内(2か所)

※現地では、職員の指示に従い、むやみにヘリコプターに近づかないください。



杵築速見消防組合本部
消防司令 矢野 泰志 氏
杵築市内に、左記の7か所を緊急時離着陸場に指定しています。
離着陸時には、エンジン音等で、周辺の皆様にご迷惑をおかけすると思いますが、救急患者の救命率向上のため、ご理解、ご協力をお願いします。

+ ドクターヘリの運用に、ご協力を。



③

【写真の解説】①飛行中の様子:道路とは異なり、カーブや坂がないため、より安静な搬送ができるという。②搬送の流れを確認:訓練のため、エンジンを切っている。③消防職員と医師・パイロットが打ち合わせ:熱心な質問が寄せられ、実際の出動を想定し、細かい部分まで解説や協議が行われた。
※いずれも8月2日、訓練試験飛行時。